



よる差別の禁止」他に努める旨を高らかにうたいあげている。解雇はJAL労働者のみならずすべての労働者にとって社会的・経済的に極めて大きな影響を及ぼす故に、本解雇争議は全労働者が共有する課題であるとして私たちは支援を続けている。又、昨今のJALの事故や飲酒問題等の報道に接する度に、安全運航が確保できているのか、利用者としても大きな懸念を抱いてる。15年目を迎え被解雇者の年齢も看過できない状況に至っている。私たちは、この争議の全面解決は喫緊の課題と考え、早急にJAL不当解雇撤回争議団の要求に基づいて解決することを求める。



## JAL争議初！ 「茨城の会 議員連絡会」発足！

5月25日、空の安全とJAL争議の全面解決を支援する茨城の会による「議員連絡会結成総会」が水戸市内で開催されました。

総会に先立ち12時、水戸駅前で行った行動を行い、参加。(写真次ページ)  
多くの議員も参加されました。議員連絡会は超党派の32名の県市町議員により結成され、政治の場

い状況に至っている。私たちは、この争議の全面解決は喫緊の課題と考え、早急にJAL不当解雇撤回争議団の要求に基づいて解決することを求める。

## 東京都労働委員会報告

昨年12月25日にあつせんが打ち切りとなりましたが、3月21日の都労委ではJAL2事件が、4月17日には国交省事件が結審となりました。結審日には集めた救命令を求める団体署名を約1100筆都労委に提出しました。約一か月半でこれだけ集まったのは支援の皆様のおかげによるものです。ありがとうございます。両事件とも9月頃に命令が出されるということです。まだお出しいただいていない団体は是非早期送付にご協力ください。

要請文と署名用紙はJH Uホームページよりダウンロードすることが出来ます。尚、優先雇用事件については6月11日から審査が再開されています。多くのパイロットや客室乗務員を採用しながら被解雇者を一人も職場に戻さないのは、JALが組合敵視の不当労働行為意思に基づいていることを、しっかりと今後明らかにしていきます。

次回都労委調査：  
9月9日16時～



## 国土交通省で 記者会見

3月31日、2024年1月2日に羽田空港でJAL機と海上保安庁機が衝突した事故について、運輸安全委員会から昨年12月25日出された経過報告書を通して見える客室の運航の安全に係わる問題点について現役客室乗務員（JH U組合員）を中心に記者会見を実施



施しました。会見には、7社8名の記者が出席し、熱心に耳を傾けていました。また客室乗務員は海外では殆ど国家ライセンスですが、日本では航空法で「航空従事者」に位置づけられておらず、総務省の職業分類では「接客給仕従事者」の扱いになっています。乗客の命を守る仕事を担いながら、サービス業のみの位置づけは問題です。

## 訃報

JAL争議解決に向けてご尽力いただいた上条貞夫弁護士(94歳、東京法律事務所)が2025年6月29日ご逝去されました。

謹んでお悔やみを申し上げます。

1日も早い争議解決の報告を

届けましょう！！



(写真：2023年1月24日第12回青空チャンネル出演)

## JAL株主総会報告

### 最初の質問者に山口JHU委員長を指名!?

6月24日8時30分、株主総会会場の東京ガーデンシアター前で例年通り株主に対する宣伝行動を行いました。早朝・酷暑であるにもかかわらず多くの支援者が参加され、会場に入る株主の多くは争議団・支援者が配布するビラを受け取り、読みながら入って行きました。

社内二労組が争議を終結した後、一昨年の株主総会から質問に手を挙げて争議団や支援者に対して全く

指名しない状況が続いていました。しかし、今回はいきなり最初に山口JHU委員長が指名されました。その後も更に争議団が一人、動議では争議団と支援者株主が二人指名され、解雇争議について発言することができました。以下発言内容と会社の回答です。

**山口委員長**…「19年間機長として働いてきたが、全く責任がないのに解雇された。

解雇後パイロット700人、客室乗務員7500人以上採用し、外国人パイロットも70名採用予定だが被解雇者は誰も戻さない。石破総理が総理になる前にお会いした時に、モノを言う労働者の排除、労働組合潰しではないですかと発言している。15年続く争議を解決する意思はないのか?」

**大堀人財部長**…人員削減目標を達成できず、やむをえ



5月25日 水戸駅前宣伝行動

**大堀人財部長**…各職場でベテランは十分に存在している。鳥取社長…自分自身に責任がある。コミュニケーションの課題が大きい。すぐに結果の出ないものもあるが、深い話を持つ場を多く持ち話しあいを真摯に続けたい。ご理解を。

以下は動議として発言。動議はすべて否決されました。

**支援者A**…役員解任動議。

羽田事故の際、赤坂社長は記者会見にも出ず、ニューヨーク線のセレモニーをしていた。昨年の役員報酬は4億8200万円。社長は謝罪。争議団から役員を。

**争議団B**…取締役はうそをついている。人員削減目標は達成し、超過達成していたにもかかわらず事実を隠して解雇し、15年も放置している。取締役役に適さない。そうでないというなら削減数をだしてください。

**支援者B**…世界は戦争の危機に直面。JALにとつても危機。戦争反対の決議をすべき。労使・株主一体となつて取りくむ必要がある。その障害と

なっている労使紛争をまず解決すべき。解雇撤回、解決金支払いを受け入れることを決議したらどうか。

今回の総会では16名の方が発言・動議を行いました。が、争議関係者以外の多くの方もすべての職種にたいして安全問題や、賃金問題、人員体制の問題など経営姿勢に対する疑問を出されていたのは今までにないことでした。ここ数年安全上のトラブルがなくならない状況を反映したものとされます。総会後出口でビラを配布していた争議団に対し複数名の株主が話しかけてきていました。



## 四国キャラバン

今年もJALの不当解雇撤回と全国一律最賃1500円をめざす四国キャラバンが実施されました。

6月2日香川、3日徳島、4日高知、5日愛媛と車を仕立てて廻ります。各地で労働局交渉、街頭宣伝、報告集会、交流会を行い、朝から晩まで内容の濃い一日です。

各地の労働局交渉では、毎年行っている成果か、いつもと違う対応も見られました。

報告集会にはお忙しい中多くの支援者が結集し、争議団の報告に激励や質問が



寄せられました。物販も毎回沢山御協力いただき、愛媛では殆ど売れる商品がなくなるという嬉しい悲鳴でした。カンパも沢山いただき本当に有難うございました！



## 株主総会に向けて 都内キャラバン

・5月15日三駅頭で宣伝  
北千住・上野・御徒町

ビラを見て沢山の方から反応がありました。

「労働組合があつたから守られているものがある。今の若い人たちは大変」「負けないうで頑張つてほしい」などと励まして頂きました。

・6月8日銀座ホコ天宣伝  
&練り歩き

日曜日の午後、銀座の歩行者天国で宣伝。その後、イトシア前でも宣伝を行いました。

銀座は外国人、お子さん連れが多く沢山の方がビラを取りに来られたり、励ましの言葉をかけて下さいました。

用意した風船（JALは解雇争議を解決せよ！のロゴ入り）を子どもたちに配りました。



## 各地のメーデーに参加

争議団は今年も各地のメーデーに参加しました。

東京・新潟・茨城・神奈川・埼玉・千葉・京都・愛媛・福岡の15カ所のメーデーに参加しました。

各地で訴え、デモにも参加し元気をいただきました。



## 4・25トランジットコンサート

郵送の方にはニュースを同封しています。ネット会員の方は以下のURLをクリックしてニュースをご覧ください。

[https://jhu-wing.main.jp/file25/jhu\\_news-153.pdf](https://jhu-wing.main.jp/file25/jhu_news-153.pdf)

